

新たな実行計画の策定について

- 建設産業における女性活躍・定着促進に向けては、平成26年8月、令和2年1月にそれぞれ計画を策定し、官民が一体となって、女性の入職促進や就労継続に向けた様々な活動に取り組んできたところ。
- 建設産業における女性の就業状況は、**技術者・技能者ともに増加傾向にあり、一定の成果がみられるものの**、入職者に占める女性の割合は依然として低く、また、**「入職者数に対する離職者数の割合」についても全産業と比べても高い年があるなど、女性の定着はまだ不十分。**
- 建設産業の最重要課題の一つである担い手確保に向けては、まずは、**トップである経営者層の意識を変え、現場で働く労働者全ての意識を変えていくことで、建設産業が現場を持つ産業という特色も踏まえつつ、全ての人にとって魅力的で選ばれる産業となっていくことが必要。**

○ 全体に共通する基本的考え方として、「トップの意識を変えて、現場が変わる。担い手確保につなぐ、全ての人が働きやすく働きがいのある魅力ある建設産業の実現へ」を実行計画の副題に据え、この考えの下に、魅力的な建設産業を実現し、若者入職促進等の担い手確保につなげるものとして女性活躍・定着促進に取り組む。

「建設産業における女性活躍・定着促進に向けた実行計画」の主なポイント

- (1) 建設産業の魅力向上・発信 ～選ばれる建設産業を目指して～
 - 全ての人が働きやすく働きがいのある魅力ある産業を目指した意識改革（まずは経営者層、さらに現場までの意識改革・理解醸成）
 - 働きやすく柔軟な働き方のできる環境整備（仕事と家庭の両立）
 - スキルアップできる環境整備（多様で柔軟なキャリアパス、ロールモデルの提示）
 - 建設産業の魅力・働きがいの効果的な発信（ターゲットに応じたきめ細かい戦略的な広報）
- (2) 働きやすい現場の実現 ～現場で働く女性のハード・ソフト両面からの環境整備～
 - 現場のハード面からの環境整備（自治体発注工事、民間工事含め快適なトイレや更衣室の整備）
 - 現場における働き方改革（適正工期の確保、ICT活用、朝礼の運営見直しなど働きやすい環境の整備）
 - 現場における意識改革（現場のトイレや更衣室等の利用ルール of 徹底、現場の理解醸成）
- (3) 女性活躍・定着促進に向けた取組の裾野拡大 ～取組の普及・実行計画のフォローアップ～
 - 建設産業女性定着支援ネットワークの活動の全国展開・取組充実（業界団体との連携強化や相談体制の強化）
 - 計画策定後のフォローアップ・取組内容の展開（実行計画の普及、毎年度の取組状況の確認・課題把握）



建設産業の魅力を動画で発信



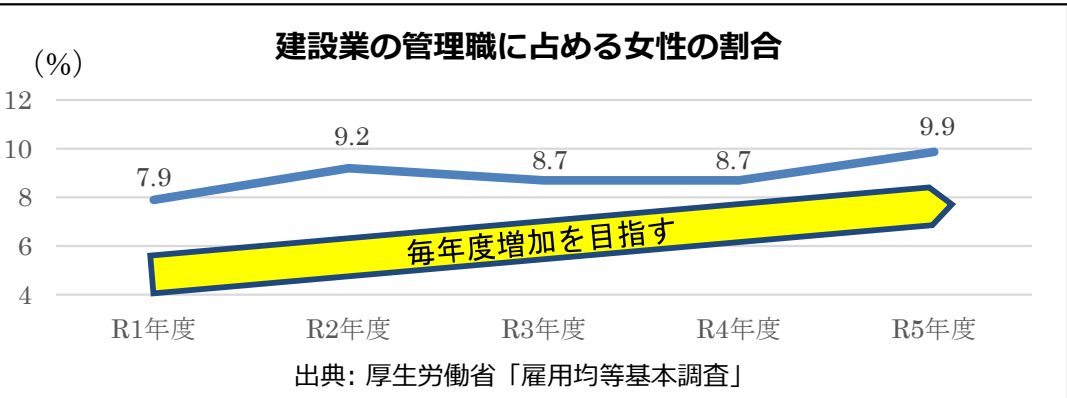
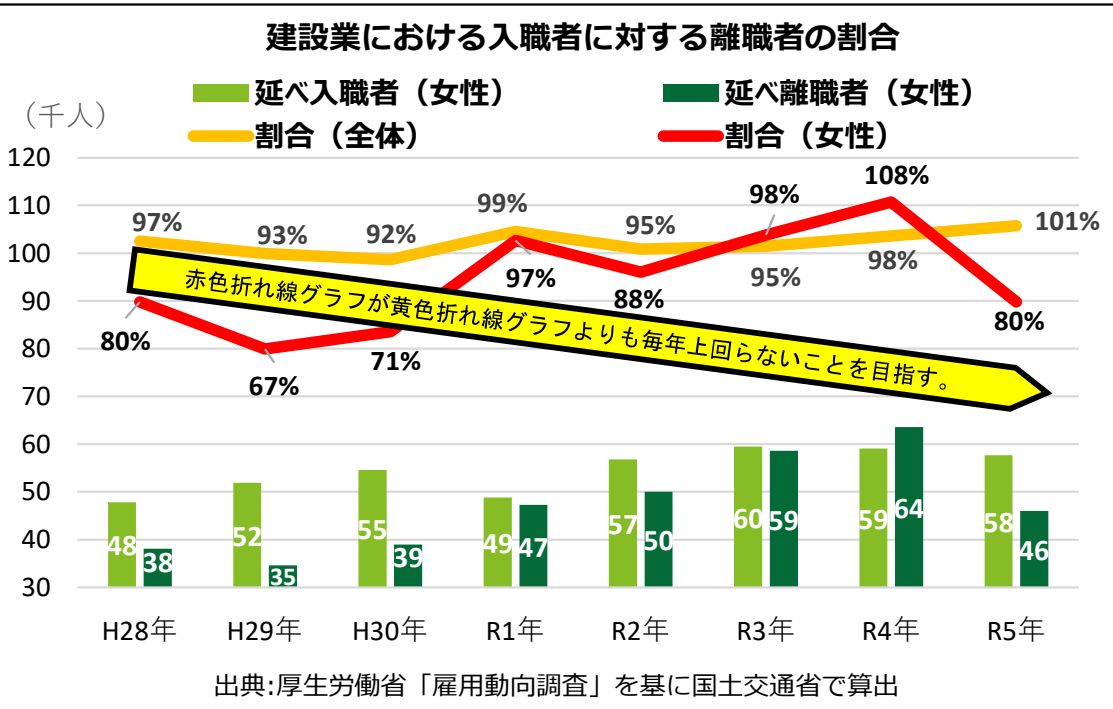
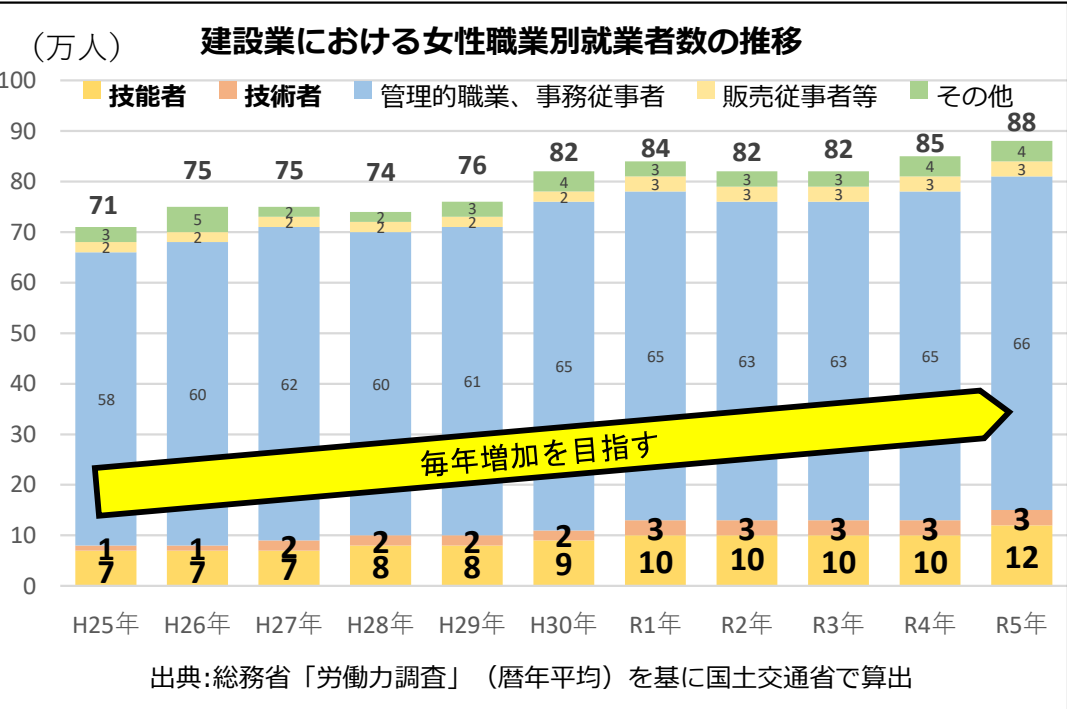
民間集合住宅現場における快適なトイレ活用事例



建設産業女性定着支援ネットワークの活動の様子

実行計画の取組目標

- 令和11年までの間、「建設業における女性技術者・技能者の人数」を毎年増加させる
- 令和11年までの間、「女性入職者に対する女性離職者の割合」を「建設業全体の入職者に対する離職者の割合」よりも、毎年上回らないようにする
- 令和11年度までの間、「建設業の管理職に占める女性の割合」を毎年度増加させる
- 令和11年度までに、都道府県単位で活動している団体の「建設産業女性定着支援ネットワーク」への加入を全ての都道府県で目指す



建設産業女性定着支援ネットワークへの加入状況

団体登録のある都道府県の数 33都府県 (R6.12時点)

(全国活動17団体/都道府県活動38団体)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
全国	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知
17		1	1	1	1		1	1				1		2	1	2		1		1	1	1	
24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
1	1	1	2	1		1	1	1	1		1	2			1	2		1	1	1		1	1

- 建設産業における女性活躍・定着促進に向けた実行計画の策定に当たり、国土交通省、業界団体、建設産業女性定着支援ネットワークからなる検討会を設置。
- 有識者ヒアリング、地方ブロック単位での意見交換会、企業アンケートも実施して、内容を検討。

検討体制

【目的】

建設産業における女性活躍・定着を促進するため、過年度の取組状況を踏まえ、官民一体となって取り組むべき事項を実行計画として整理することを目的に、検討会を実施。

【構成員】

- ・日本建設業連合会 ・建設産業専門団体連合会
- ・全国建設業協会 ・全国建設産業団体連合会
- ・全国中小建設業協会 ・住宅生産団体連合会
- ・建設産業女性定着支援ネットワーク
- ・国土交通省
- ・厚生労働省（オブザーバー）



検討の方向性

- ・ 現行計画のように、官民それぞれが行うべき取組を体系的に整理しつつ、より効果的に女性活躍・定着促進のために重点的に検討するテーマを以下のとおり設定。

テーマ1：女性の入職促進に向けたきめ細かい広報戦略の展開

テーマ2：新たな活動領域への着目

テーマ3：トイレの環境整備・理解の促進などハード・ソフト両面からの現場における環境整備

スケジュール

第1回検討会（8月21日）

<有識者ヒアリング、地方ブロック単位での意見交換会、企業アンケートを実施>

第2回検討会（11月20日）

- ・夏～秋にかけて行ったヒアリング・意見交換・アンケート結果の紹介
- ・新計画骨子案

第3回検討会（2月3日）

- ・新計画案、新計画の推進方策